

おしゃれな人のふるしき生活

〜知ってしまえば

意外とカンタン意外と便利〜

ふるしきは、何度も利用でき、収納場所を取らず、贈る人や季節によって好きな色柄が選べるなど、おしゃれで物を大切にしている日本の伝統文化と言えます。

このたび、光市環境基本計画の重点項目である「リーディングプロジェクト」のうち「もったいない文化推進プロジェクト」の第1弾事業として、ふるしき講座を開催します。文化を感じ、おしゃれを楽しみながら、実はとてもエコロジー。当日は包み方の講習も行います。今までふるしきに縁がなかった人も身近に感じることができるようはです。

- 日時 7月12日(土) 13時30分
- 場所 市民ホール
- 入場料 無料
- 内容
 - ・ふるしきにまつわるお話
 - ・包み方のレッスン

当日は、ふるしきを2枚持参して

ください。ハンカチ・スカーフでも結構です。
・ふるしきの使い方の実演

問合せ 環境政策課環境政策係
☎0833(72)1400

講師 山田悦子氏



「京都和文化研究所 むす美」のアートディレクター。テレビや雑誌などの多くのメディアでふるしきの普及活動に努めるばかりでなく、環境保全に努める世界的な活動「MOTTAINAIプロジェクト」に参加し活躍中。

全国自治体病院開設者協議会総会で 末岡市長が自治体病院の現状を報告

5月21日(水)、東京都の全国都市会館で、国会議員や自治体病院関係者等約230名の出席のもと、全国自治体病院開設者協議会の平成20年度定時総会が開催されました。

末岡市長は平成10年5月から副会長に就任し、本総会では自治体病院を取り巻く環境が厳しさを増す中、地域偏在、診療科偏在等、自治体病院の現状報告を行いました。

続いて関係官庁等への要望を決議し平成20年度事業計画や役員改選等の審議後、副会長に再任されました。

また総会終了後は総務省へ出向き、増田大臣等へ要望活動を行いました。

公立病院改革ガイドラインと 光市の現状について

昨年総務省から示されたガイドラインでは「経営の効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」の視点で数値目標を設定し、地域で真に必要な公立病院のあり方を、平成20年度中に改革プランとして策定するよう自治体に求めています。

末岡市長は、このガイドライン策定のための「公立病院改革懇談会」



へ出席。公立病院が地域医療の中核的な存在として果たしてきた役割等、地域の現状や国の財政措置の必要性を強く要望し、実情や観点がガイドラインの中に反映されました。

光市では病院事業の経営健全化を進めるため、平成17年度に「光市病院事業中期経営計画」を策定。その後、療養病床の削減や医療従事者不足など医療情勢のさまざまな変化により、平成19年6月に「光市病院事業整備計画」を策定し「短期改善計画」を進めています。

公立病院改革プランについては短期改善計画の達成状況や県の医療計画、医療関係者の確保問題等、病院局の分析結果を総合的に見極め、議会や市民の皆さんのご意見を伺いながら平成20年度中に策定の予定です。